



2018-19 年度 会長：片山 秀樹 幹事：林 たかみ 広報・会報委員長：黄堂 泰昌

事務局・例会場：〒562-0006 大阪府箕面市温泉町 1-1 箕面観光ホテル Tel: 072-724-2781 fax: 072-724-1786
e-mail: mino-orc@abeam.ocn.ne.jp HP: http://mino-orc.net/ 例会日：毎週木曜日 18:30～

<p>◆今週の例会プログラム◆ 2018年11月1日(木)第2396回例会 フォーラム(ロータリー財団) 担当：ロータリー財団委員長 浦 収会員</p>	<p>◇次週◇ 2018年11月8日(木)休会日 ◆次々週の例会プログラム◆ 2018年11月15日(木)第2397回例会 卓話 担当：水島教絵会員</p>
<p>◆先週のお客様◆ 北川 たつや 様(箕面 J-POP 大使、シンガーソングライター) ◇ロータリーソング◇ 奉仕の理想</p>	<p>◆出席報告 2018年10月25日(第2395)回例会◆ 会員数：30名 出席者：17名 出席率 65.38% 前々前回 2018年10月4日 80.77%</p>

◆会長の時間 会長 片山 秀樹

皆様こんばんは。今日は道修町の神社「神農さん」に150年ぶりに神農像が戻ってきたこととお話いたします。

葉の町として知られている大阪府中央区道修町の少彦名神社(始まりは238年前)は「神農さん」として親しまれています。御祭神としてお祀りしているのは少彦名命(すくなひこなのみこと)と神農炎帝(しんのうえんてい)です。

中国の医薬の神様である神農像は道修町の当時の薬卸業界である「薬種中買仲間」の事務所で祭られていました。明治維新の直前、仏具店に修理に出されたのですが維新の際の神仏分離の影響で引き取れなくなり1868年頃より行方不明になっていました。小野薬品工業株式会社(1717年創業)300年史の編纂中に芦屋市の薬店「聖樹薬品」に保管されていたとの記事(昭和29年)を見つけられ、その存在が確認されることとなります。

このたび同店のご厚意により神農さんに寄贈していただくことになり、神社では10月23日に還御祭が開かれ私も役員として参列いたしました。明治150年の記念すべき日に明治維新に翻弄された神農像が神社に戻ってきたことに運命的なものを感じた幸いです。

◆幹事報告◆ 幹事 林 たかみ

- ・赤い羽根募金について
- ・ロータリーデーについて

長寿のお祝いの会 2018年10月19日(金)

山下霊瑞会員：卒寿
川端崇且会員、庄司修三郎会員：喜寿
山下恵司会員、石原孝男会員：古希
黄堂泰昌会員、上島一彦会員：還暦
おめでとうございます



4つのテスト 言行はこれに照らしてから

- 1、真実かどうか
- 2、みんなに公平か
- 3、好意と友情を深めるか
- 4、みんなのためになるかどうか

◆SAA 報告◆

ニコニコ箱

山下恵司会員：内祝

芝野弘三郎会員：黄堂実行委員長、宜しくお願いします。

川端崇且会員：長寿の会、ありがとうございます。

黄堂泰昌会員：長寿のお祝いの会ではお世話になりました。

庄修二会員：50周年委員長よろしく

前田建司会員：来週から寒くなりそうですね。黄堂委員長本日は宜しくお願い致します。

林たかみ会員、河野優作会員、梶山博照会員、山本貴雄会員、浦収会員、木村知也会員、尾崎夏樹会員

米山奨学会

川端崇且会員：本日の卓話よろしく

山下恵司会員：川端さん卓話お願いします。

林たかみ会員、前田建司会員、西脇悟会員、尾崎夏樹会員、芝野弘三郎会員、庄司修二会員

ロータリー財団

片山秀樹会員：川端さん卓話よろしくお願いします

西宮富夫会員：川端会員卓話よろしく

木村知也会員、前田建司会員、尾崎夏樹会員、芝野弘三郎会員、庄司修二会員、山下恵司会員

ポリオ基金

尾崎夏樹会員

◆50周年記念事業について◆

50周年記念事業実行委員長 黄堂泰昌

本日は、50周年記念式典に出演していただく 北川たつや さんにお越しいただきました。



箕面 J-POP 大使

1985年、大阪府箕面市に生まれる。学生時代からヨーロッパやオーストラリアに留学し、見聞を広める。LIVE 以外にもラジオ DJ や京セラドームでのプロ野球公式戦にて3年連続国歌斉唱を経験。地元箕面市からも支持され、箕面 J-POP 大使に就任。楽曲は多くのメディアに取り上げられ、全国のカラオケ DAM で

も配信中。2016年には北川たつやとして 1st Mini Album『TERASUHIKARI』をリリース。2017年には箕面市立メイプルホールにてホールワンマンコンサートで500名を動員。同年9月より株式会社エムロク所属アーティストとして新たなスタートをきった。(北川たつやオフィシャル Website より)

「パパの柿の木」は、昭和60年8月12日の日航機墜落事故で、夫の正勝さんを亡くされた箕面市在住の谷口真知子さんが、悲しみに暮れるなか、正勝さんが生前に自宅に植えた柿の木に実がなったことで、それを心の支えにして力強く生きていこうと決心する家族の姿を絵本にして、2年前に出版されたものです。



北川さんは、谷口さんのお話を何度も聞いて「大切な人がいつもそばにいないとは限らない。それはすごく特別なことで、ありきたりな日常こそありがたい。この曲を通じて、命の大切さ、まわりの人たちの大切さを改めて感じてもらえればうれしい。」とコメントされています。

去る7月18日には、市立東小学校において「パパの柿の木」と「茜空」を通して、家族や命の大切さを伝える特別授業が行われました。参加した6年生の児童は、家族と一緒にいられることは当たり前ではない、と気付きました。これからは、「ただいま」や「ありがとう」を、家族に欠かさず言うようにします。と話していました。

